Course number		U-LAS41 10002 PJ49										
Course title (and course title in English)  スポーツ実習IB[サッカー・フ  スポーツ実習IB[サッカー・フ  Sports I B [Soccer Futsal]				フットサル	ハトサル Instructor's name, job title, and department of affiliation			Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, KUSHIRO KEISUKE				
Group Health and Sports				Field	Field(Classification)			Sports Training				
Language of instruction	Japanese			Old group				Number of credits 1				
Number of weekly time blocks	1				actical training Face-to-face cou		ırse)	Year/semesters		2025 • Second semester		
Days and periods	Wed.1		Target year		All students		Eligible students		For all majors			

## [Overview and purpose of the course]

本実習ではフットサル種目を通じて、スポーツを生涯にわたり楽しめる知識と技術を身につける。 受講者間の相互関係を広めコミュニケーション能力の向上を図るとともに、運動の学習に能動的に 取り組み、スキルの向上を目指す。

## [Course objectives]

スポーツに親しむ態度を養い、運動を取り入れた健康的な生活習慣の獲得を目指す。

## [Course schedule and contents)]

この「スポーツ実習」は、当分の間、科目名に付記した種目にかかわらず、非対面のオンライン授業(Zoomによる同時双方向授業方式、動画・教材と課題等の提供によるオンデマンド授業方式、または双方の併用)の形態で実施します(担当教員によっては、一部、屋外での対面授業の方式で実施される場合もあります)。授業方法や授業内容等の詳細は、一部がこのシラバスに記されているほか、初回授業時に担当教員より説明します。(科目名に付記された種目を実施できずに終わる可能性もありますので、その点はどうかご了承ください。)

なお、状況次第では、科目名に付記した種目の対面授業に移行する場合があります。

授業はzoomによるオンライン(ライブ)とオンデマンド課題の両方によって進める。フィードバッ クを含む全15回を以下の内容で行う。

第1回は、zoomを用いて担当教員がガイダンスを行う。

第2回以降は、毎時間の前半に動画を用いた基礎体力トレーニング、後半は毎回ボール操作(ジャグリング・リフティング)の課題を行う。お手本動画を参考にしながら翌週までにできるようになるよう各自で継続的に挑戦する。毎日の身体活動を記録し、毎週火曜日(授業前日)までに提出する。授業時に、前週の取り組み、改善点、克服すべき課題を受講者間で相互に理解し、援助し合う。

## [Course requirements]

|技術レベルは問わないが、積極性が求められる。

履修希望者が受け入れ可能な人数を超える場合は調整を行う。

スポーツ実習IB [サッカー・フットサル] <b>(2)</b>
Evaluation methods and policy]
出席状況と取り組みの積極性により総合的に評価する。
[Textbooks]
Not used
[Study outside of class (preparation and review)]
健康の維持増進に努めること。 睡眠と食事をしっかりと摂り、体調を整えて参加すること。
[Other information (office hours, etc.)]
学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へ加入しておくこと。
授業課題で用いるボールを各自で準備すること(百均などで入手できるものでもよい)。詳細は初 回授業時にお知らせします。
[Essential courses]